

第Ⅴ章 「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想」
パンフレットの改訂

第V章 「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想」パンフレットの改訂

1. パンフレットの改訂

(1) パンフレット改訂内容

「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想」パンフレット（平成26年3月改訂版）は、前回改訂から約5年が経過し、駐留軍用地の一部返還等の変更が生じているため、改訂を行った。

改訂にあたっては、関係6市町村へ改訂案の照会をかけ、意見を反映した。

パンフレットの新旧対照は、以下に示すとおりである。

■中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想 パンフレット改訂案 新旧対照

※修正箇所を色付き文字で記載
赤字：照会前、青字：照会后

表V-1 パンフレット改訂案 新旧対照

| 改訂案（平成31年3月） | 現行（平成26年3月改訂） | 変更理由 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 表紙 航空写真 ※キャンプ桑江南側地区、普天間飛行場、陸軍貯油施設第1桑江タンク・ファーム、那覇港湾施設の航空写真を更新 | — | 時点更新 |
| 表紙 最終行 ※平成31年3月改訂版 | ※平成26年3月改訂版 | 改訂年月の記載 |
| 1. 広域構想の背景 駐留軍用地の返還 ●（略） ●（略） ●沖縄本島中南部地域は、政令指定都市に匹敵する119万人を超える人口が集中し、・・・ | ●（略） ●（略） ●沖縄本島中南部地域は、政令指定都市に匹敵する117万人を超える人口が集中し、・・・ | 時点更新（平成27年度国勢調査） |
| （図面） ※平成27年DIDを表示 | ※平成17年DIDを表示 | 時点更新（平成27年度国勢調査） |
| （図面／凡例） 平成27年DID 返還・返還予定駐留軍用地 | 平成17年DID 返還予定駐留軍用地 | 時点更新（平成27年度国勢調査） 時点更新（軍用地返還に伴う更新） |
| 5. 広域構想の基本方針 （図面）広域交通インフラ ※中部縦貫道路修正 | — | 時点修正 |

| 改訂案（平成31年3月） | 現行（平成26年3月改訂） | 変更理由 | | | | | | | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| <p>6. 中南部都市圏駐留軍用地跡地 利用広域構想図 (図面) ※中部縦貫道路修正</p> | — | 時点修正 | | | | | | | | | |
| <p>(図面/旗揚げ) 普天間飛行場 (481ha: ※①)</p> <table border="1"> <tr> <td>※① 東側沿いの土地 (4ha: 2017年度返還)</td> </tr> <tr> <td>普天間飛行場 (476ha: 2022年度又はその後)</td> </tr> </table> | ※① 東側沿いの土地 (4ha: 2017年度返還) | 普天間飛行場 (476ha: 2022年度又はその後) | <p>普天間飛行場 (481ha: 平成34年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更、時点更新（軍用地返還に伴う更新） | | | | | | | |
| ※① 東側沿いの土地 (4ha: 2017年度返還) | | | | | | | | | | | |
| 普天間飛行場 (476ha: 2022年度又はその後) | | | | | | | | | | | |
| <p>牧港補給地区 (274ha: ※②)</p> <p>※②</p> <table border="1"> <tr> <td>北側進入路 (1ha: 2013年度返還)</td> </tr> <tr> <td>第5ゲート付近の区域 (2ha: 2019年3月末返還予定)</td> </tr> <tr> <td>残余の部分 (142ha: 2024年度又はその後)</td> </tr> <tr> <td>倉庫地区の大半を含む部分 (126ha: 2025年度又はその後)</td> </tr> <tr> <td>国道58号沿いの土地 (3ha: 2017年度返還)</td> </tr> </table> | 北側進入路 (1ha: 2013年度返還) | 第5ゲート付近の区域 (2ha: 2019年3月末返還予定) | 残余の部分 (142ha: 2024年度又はその後) | 倉庫地区の大半を含む部分 (126ha: 2025年度又はその後) | 国道58号沿いの土地 (3ha: 2017年度返還) | <p>牧港補給地区 (274ha: ※①)</p> <p>※①</p> <table border="1"> <tr> <td>北側進入路 (1ha: 平成25年度又はその後)</td> </tr> <tr> <td>第5ゲート付近の区域 (2ha: 平成26年度又はその後)</td> </tr> <tr> <td>残余の部分 (142ha: 平成36年度又はその後)</td> </tr> <tr> <td>倉庫地区の大半を含む部分 (129ha: 平成37年度又はその後)</td> </tr> </table> | 北側進入路 (1ha: 平成25年度又はその後) | 第5ゲート付近の区域 (2ha: 平成26年度又はその後) | 残余の部分 (142ha: 平成36年度又はその後) | 倉庫地区の大半を含む部分 (129ha: 平成37年度又はその後) | 西暦表記へ変更、時点更新（軍用地返還に伴う更新） |
| 北側進入路 (1ha: 2013年度返還) | | | | | | | | | | | |
| 第5ゲート付近の区域 (2ha: 2019年3月末返還予定) | | | | | | | | | | | |
| 残余の部分 (142ha: 2024年度又はその後) | | | | | | | | | | | |
| 倉庫地区の大半を含む部分 (126ha: 2025年度又はその後) | | | | | | | | | | | |
| 国道58号沿いの土地 (3ha: 2017年度返還) | | | | | | | | | | | |
| 北側進入路 (1ha: 平成25年度又はその後) | | | | | | | | | | | |
| 第5ゲート付近の区域 (2ha: 平成26年度又はその後) | | | | | | | | | | | |
| 残余の部分 (142ha: 平成36年度又はその後) | | | | | | | | | | | |
| 倉庫地区の大半を含む部分 (129ha: 平成37年度又はその後) | | | | | | | | | | | |
| <p>那覇港湾施設 (56ha: 2028年度又はその後)</p> | <p>那覇港湾施設 (56ha: 平成40年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更 | | | | | | | | | |
| <p>陸軍貯油施設第1 桑江タンク・ファーム (16ha: 2022年度又はその後)</p> | <p>陸軍貯油施設第1 桑江タンク・ファーム (16ha: 平成34年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更 | | | | | | | | | |
| <p>キャンプ桑江南側地区 (68ha: 2025年度又はその後)</p> | <p>キャンプ桑江南側地区 (68ha: 平成37年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更 | | | | | | | | | |
| <p>キャンプ瑞慶覧 インダストリアル・コリドー等 (62ha: 2024年度又はその後)</p> | <p>キャンプ瑞慶覧 インダストリアル・コリドー等 (62ha: 平成36年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更 | | | | | | | | | |
| <p>施設技術部地区内の倉庫地区の一部等 (11ha: 2019年度又はその後)</p> | <p>施設技術部地区内の倉庫地区の一部等 (10ha: 平成31年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更、時点更新（軍用地返還に伴う更新） | | | | | | | | | |
| <p>ロウワー・プラザ住宅地区 (23ha: 2024年度又はその後)</p> | <p>ロウワー・プラザ住宅地区 (23ha: 平成36年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更 | | | | | | | | | |
| <p>喜舎場住宅地区の一部 (5ha: 2024年度又はその後)</p> | <p>喜舎場住宅地区の一部 (5ha: 平成36年度又はその後)</p> | 西暦表記へ変更 | | | | | | | | | |

(2) パンフレット改訂 (案)

中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想

沖縄本島中南部都市圏は、市街地を分断する広大な駐留軍用地の存在により、長期にわたり望ましい都市形成や交通体系の整備、産業基盤の整備など、地域の振興開発を図るうえで、大きな課題をかかえてきました。

平成18年の日米安全保障協議委員会において、嘉手納飛行場より南の大規模な駐留軍用地の返還が合意されました。この駐留軍用地跡地は、沖縄の新たな発展のための貴重な空間であり、中南部都市圏の都市構造の歪みを是正し、県土構造の再編にもつながる大きなインパクトを持っています。

沖縄県では、平成22年度から、関係市町村、地主会等の協力のもと、広域的な視点からの跡地利用の検討を行い、6施設の連携した跡地利用の方向性を示す「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想」を平成25年1月にとりまとめました。

広域構想は、中南部都市圏を一体とらえ、各跡地の特性を活かしつつ、広域的な観点からの役割を分担・連携した開発により、都市構造の再編及び都市機能の高度化を図り、沖縄全体の発展につながる10万都市の形成を目指すものです。

平成25年4月に「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、嘉手納飛行場より南の6施設に関する返還区域(約1048ha)及び返還時期が示されました。

今後、関係市町村における広域構想を踏まえた跡地利用計画の策定を支援し、中南部都市圏の都市構造の再編及び県全体の発展に資する跡地利用へつなげていきます。

平成25年1月
沖縄県
関係市町村
(那覇市、宜野湾市、沖縄市、浦添市、北谷町、北中城村) ※平成31年3月改訂版

1. 広域構想の背景

駐留軍用地の返還 — 大規模な軍用地の返還が予定されています —

- 平成8年の沖縄に関する特別行動委員会(SACO)、平成18年の日米安全保障協議委員会(SDC)を経て、平成25年4月の「統合計画」において、嘉手納飛行場より南の6施設に関する返還区域(約1048ha)及び返還時期が示されました。
- 返還予定の6施設とは、①キャンプ桑江南側地区、②陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム、③キャンプ瑞慶覧の一部、④普天間飛行場、⑤牧港補給地区、⑥那覇港湾施設です。
- 沖縄本島中南部地域は、政令指定都市に匹敵する119万人を超える人口が集中し、都市的サービス機能が集積する沖縄本島の基幹的都市圏であり、その市街地の中に位置しています。

駐留軍用地跡地利用の課題 — 跡地利用には様々な課題があります —

- 県内では、復帰後約5,485haの駐留軍用地が返還され、様々な跡地利用がなされてきました。
- 中南部都市圏の跡地開発は、那覇新都心地区に代表されるように、都市の中核的施設を備えた市街地を形成し、大きな経済的効果を生み出しています。
- しかし、これまでの跡地利用は、地権者の意向を念頭に、各市町村独自の利用計画のもと進められ、その大半は商業サービス及び住宅となっています。
- 今後大規模な人口増が見込めない中で、これまでと同様な手法では、跡地相互の競合による全体発展の阻害、良好な環境形成につながらないことが懸念されます。

中南部都市圏の主な跡地利用の事例

北谷北前地区 那覇新都心地区 那覇市小樽金地区

2. 広域構想の策定経緯

広域構想の策定経緯

沖繩21世紀ビジョン(平成22年3月) → 平成22年度(平成22年度) → 平成23年度 → 平成24年度 → 平成25年1月(案)

3. 広域構想の意義と位置づけ

広域構想の意義

- 広域的かつ戦略的な跡地利用
- 新たな開発機軸(跡地振興拠点)の創出
- 個別開発に伴う弊害の回避と全体最適性の実現

広域構想の位置づけ

- 「沖繩21世紀ビジョン(平成22年3月)」では、今後返還が予定されている大規模な基地跡地は、沖縄の新たな発展のための貴重な空間として、県民、地権者、行政等の連携と協働による広域的な構想を立案するとされており、それを受けて本広域構想が策定されました。
- 今後は、広域構想を、市町村が取り組んでいる「市町村跡地利用計画」へと反映し、駐留軍用地の返還の見通しが立った時点において、跡地利用推進法に規定する「総合整備計画」へとつなげます。

図V-1 中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想 パンフレット改訂(案)(1/3)

7. 広域構想の推進に向けた今後の課題

- 広域構想の考え方や内容を県民及び地権者へ周知を徹底し、理解を深めること
- 県分野別計画や関係市町村の跡地利用計画との整合性、連動性の確保すること
- 広域構想に示された事業の実現性、実効性を高めるための検討
 - ・ 自然環境調査や歴史文化財調査
 - ・ 公共用地の先行的確保
 - ・ 緑地の保全及び創出の方策
 - ・ 事業実施主体の早期確立
 - ・ 予算的裏付けの確保
 - ・ 産業立地へのインセンティブ
 - ・ 用地の集約や申し出地地などの制度化
 - ・ 土地の需給バランス調整、段階的整備の検討
- 国、県、関係市町村の密接な連携に基づく推進体制の構築

広域構想の具体化に向けた取組み

沖縄の新たな発展につなげる大規模基地返還跡地利用計画提案コンペ

- 沖縄県では平成24年度に復帰40周年記念事業として、今後の跡地利用計画策定の参考として活用すること、跡地利用に対する社会的関心及び理解を高めることを目的に跡地利用計画提案コンペを実施しました。
- 嘉手納飛行場より南の6つの対象基地について、広域構想を視野に入れ魅力ある中南部の都市圏形成及び沖縄全体の発展につながる跡地利用の提案募集に、県内外から79作品もの応募がありました。
- 第1次審査、第2次審査を実施のうえ、最優秀賞(1作品)、優秀賞(2作品)、佳作(2作品)、入選(15作品)を決定しました。
- また当事業の一環として、関係市町村の6中学校でワークショップを開催し、子供たちに基地跡地利用による将来の夢を描いていただき、その成果を発表する「中学生サミット」を実施しました。



●最優秀賞 トラム&クリンインターナショナル / 嘉手納飛行場跡地利用提案案



●優秀賞 日本設計+東設計 / 牧港跡地跡地利用提案案

●優秀賞 琉球大都市計画研究センター / 嘉手納飛行場跡地利用提案案



●中学生サミット参加校(北谷中学校、山内中学校、北中城中学校、嘉手納中学校、仲高中学校、嘉手納中学校)

お問い合わせ先 沖縄県企画部企画調整課(跡地利用推進班)

☎098-866-2108 E-mail :aa010006@pref.okinawa.lg.jp

ホームページ : http://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/choseni/atochi/atochi_top.html

図V-1 中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想 パンフレット改訂(案)(3/3)